

産禪洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禪洞診療所

● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談

診 察 日：月曜・木曜・金曜

受付時間：9:00~12:00

〒502-0017 岐阜市長良雄穂878-16

IP Tel:058-295-9545

FAX:058-296-3903

E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp

http://zazendoh.town-web.net/

第139号 2015.10.1.

毎月1回発行 産禪洞診療所 松井英介

ストロンチウム90を測りましょう

松井英介

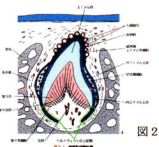


図2

3.11原発事故後、研究者は、動物の乳歯や骨などに蓄積する人工放射性物質について調べました。

今までに行われたウシ、ブタ、野生ネズミ、サルについての研究から、とくに若い動物の歯にストロンチウム90(Sr-90)が顕著に蓄積していることが明らかにされています。その値は高濃度汚染地ほど高くなっています。同じようなことがヒトにも起こっている可能性があり、そのことを私たちは心配しています。

1950年代から60年代にかけて、とくに南太平洋で核実験が行われました。その核実験で放出された人工放射性物質のひとつであるSr-90は、気流に乗って日本にも飛んできました。

Sr-90は白血病や免疫不全、がん以外の病気の原因ともなるので、全国各地で調べられました。その結果が下のグラフです(図1)。

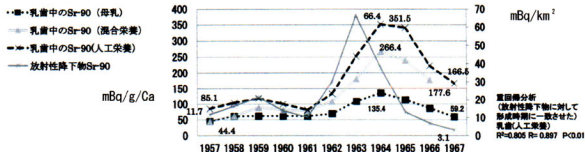


図1：核実験による放射性降下物と乳歯のSr-90量（日本1957～67年）

放射性降下物量に比例して、乳歯中のSr-90の蓄積量が高くなっています。また乳児の栄養の違いによっても、乳歯中のSr-90の蓄積量に差があることがわかりました(図1)。

胎児が4ヶ月くらいに成長すると、乳歯の表面の一番硬い部分・エナメル質が、つづいて象牙質ができ始めます。胎生期に、Sr-90はエナメル質に最も高密度に蓄積します(図2)。

日本には乳歯一本一本のSr-90を測る測定所がまだありません。時間はかかりますが、測定所の建設も計画中です。これからはますます市民が力を合わせて、子どもたちを見守ってゆく必要があります。そのために、私たちはみなさんに、まず乳歯を保存することを提案します。